

授業科目名	知と表現のデザイン	担当教員	井原 麗奈
必修の区分	必修		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 1・3 クォーター		
講義内容	高校までの学習と大学での研究の違いを意識して、主体的に協働して学ぶ技術と態度を育てる。情報収集、発信、一般的な知識と技術を習得するとともに、チームで協働して、地域の課題を発見し、実際に足を運んで情報を収集し、考察を加え、報告書や発表会などで発信するプロジェクト型の学習を通して、学んだ知識や技術を、将来のキャリアに活かすための実践的な体験をする。		
到達目標	以下のようなアカデミックスキルを身につけ、大学生として必要な、自ら課題を発見して適切に情報を収集し、的確に発信する態度と能力を培う。 ・大学での学習方法（ノートテイキング、学習環境整備等） ・データや文献の検索、収集、読解、集計、整理の方法 ・協働学習の方法 ・発信の方法（レポートの書き方、プレゼンテーション）		
授業計画	第 1 回 大学で学ぶということ（受動的な学習から主体的な研究へ） 第 2 回 講義の活用法、ノートの作り方、学習環境の整備、情報機器の使い方 第 3 回 データや資料の検索、収集法 図書館の使い方、文献一覧の作成 第 4 回 アカデミックリーディング（事実・推測・意見／主張・解説の区別） 第 5 回 アカデミックリーディング（パラグラフの構造、接続、配列、要約） 第 6 回 アカデミックリーディング（理由、原因、根拠、批判的読解） 第 7 回 研究倫理 第 8 回 但馬地域研究（地域の概要を知る） 第 9 回 但馬地域研究（問を立てる） 第 10 回 但馬地域研究（フィールドワークを企画する） 第 11 回 但馬地域研究（訪問先への質問を考え、アポイントメントをとる） 第 12 回 中間発表、前期まとめ 第 13 回 但馬地域研究（フィールドワークの口頭報告） 第 14 回 但馬地域研究（資料の整理） 第 15 回 アカデミックライティング（レポートの構成、データの整理集計）		

	<p>第 16 回 アカデミックライティング（引用の仕方、注のつけ方、データ活用）</p> <p>第 17 回 但馬地域研究（報告書の作成）</p> <p>第 18 回 但馬地域研究（報告書の仕上げ）</p> <p>第 19 回 アカデミックプレゼンテーション（口頭発表の仕方）</p> <p>第 20 回 アカデミックプレゼンテーション（ポスターの作成法）</p> <p>第 21 回 但馬地域研究（プレゼンテーションの準備）</p> <p>第 22 回 但馬地域研究（プレゼンテーションの仕上げ）</p> <p>第 23 回 但馬地域研究発表会</p> <p>第 24 回 全体振り返り</p> <p>☆授業計画は変更することがある。クラス担任が 1 Q 初回の授業で説明する。</p>
事前・事後 学習	クラス担任が適宜指示するが、予習・復習として、事前調査や事後課題、レポートの提出を行うこと。
テキスト	担当教員より適宜指示する。例)『アカデミックスキルズ 第 3 版』佐藤望ほか 3 名編著、慶應義塾大学出版会, 2020
参考文献	クラス担任が適宜指示する。
成績評価 の 基 準	授業・グループワークへの主体的、協同的な参加（50%）、レポート提出（50%）
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	該当しない。
備考欄	2021 年度カリキュラムの科目（旧カリ対応）